



時事寸評

飯村生

▲平禁酒會で宣傳講演、並に映画の催しがある。酒豪家、教育家、青年の軌範。酒は全廢すべし。酒は禍と言ふではないか。

▲高女の前校長櫻井氏昇天して以來暫らくのカラ椅子に近く座席をしめる適任校長、高踏的人物なるや否や。子女は期待し鶴首の思ひ、憔悴の情實に新しうす。

▲明治神宮体育大會に出場する石城郡人、砲丸投の佐藤隆丸、剣道葉谷久太郎、柔道青木源一郎の三君、明治神宮の肉迫戦には涙ぐましく精銳奮闘を思はす。

▲虚榮と憧憬華美的の考へから許嫁の男を忌避して活潑と駢落は世の物笑ひ、弱き者よ汝の名は女なまか。

産業組合長會通信

静岡にて 大谷 久藏

産業組合大會第一日は申し分のない大會日和で飽く迄澄み切つた爽やかな初秋の大氣のなかを素絹の襟に美しい日影が光つて流れる。

▲師範校庭六千人を容る、大バラックは外を紅白の幕で廻らし内には花の様な彩旗が彩られて居る、北は北海道、南は琉球、沖繩、それに朝鮮から押すなぐで出掛けて来た會員水の流れる様に大バラックの中に吸はれて行つて来た日は又思ひ切つてその美しい姿を青空に浮き出たせて居るので來會者一同、富士、富士と願ふ。

▲來會者は何れも地方では押しも押されぬ有力者達で、ズラリ會場に着席した處は日比谷の國會よりも遙に立派といふ譯、式場入口の左側に「判らぬ事は何でも問ふて下

さい」と高島春生先生のごとけの看板を掛けて大會モーションを着て本縣農務課の本田閣下で今日こそは二言も三言も辯じたてられるので願ふ恐

▲會場主任の柏木農林主事がこの案内所へ座つて居る。新潟縣の天野さんは何處に居ますか。何でも來いの柏木君も之には少々面喰つた格好。その、それは「こんな喜劇は到る處にある、會場の來會者の立話し、オ、飛田さんは何處に居る、何處に居るつて、みんな同じやうな人間で判らない」なる程、同じ人間には間違ひない。

▲來會者の數が多いのに辨當屋がたつた一軒なので來會者中にはとうとう「晝飯にむりつ

平町三丁目

三井呉服店

電話三十八番

けないで市内を泳ぎ廻つたが何處も満員、腹が空る、車屋に聞いて縣廳の附へ来てやつとお晝にありついたなものを嘘の様な本當の話、食物の話のついでに三十日浮月の全國購買會の宴會で開會の六時になつても來賓の東武君や役人の歴々が來ない、その中に宴會場には夢の美しい處がズラリ並んでポツ／＼を上げ初め、主催者の中村圓一郎君が頗る恐縮して「困つた、」に北里農務課長己が自轉車で迎へに行かうかと目ばかりパチパチして居る。目撃者へ支會の伊藤一君早速來會場へ飛び込んで「諸君、來會者は開會の辭と思つて拍手すると一君曰く、來賓が息へませんから、一時中止を願ひます」で主催者側ホット一息した。

神経痛リウマチ 天然燐カル温泉 小野屋薬店

遊覽團體開催 期日十月十六日(日曜日)十月十七日(神嘗祭)

所込申 長橋町 植頭商店 石山町 山建具店

大衆向の實用腕時計 拾拾型 拾拾型

大谷時計病院 電話一九番

秋冬冬帽子 子供帽子 鳥打帽子 中折帽子

水波常盤 日々皆様の御負担に酬ゆる為左記の通り大々的勉強仕

原齒科医院 電話三一三番

牛なべ 豚なべ 大小宴會 特別勉強

女學生同居者希望 三年生以上 貳人

永山和平 亡母フテ儀本日送葬の際に遠路 態々御會葬被下且つ御鄭重なる